

## 国際交流

### 朝鮮大学校歯科大学訪問の報告

中野 雅徳, 細井 和雄\*, 伊賀 弘起\*\*

#### 朝鮮大学校歯科大学との学術交流

徳島大学歯学部と朝鮮大学校歯科大学は、平成6年からの歯科補綴学第二講座および歯科放射線学講座間の交流実績を基に、平成9年に学部間の学術交流協定を締結し、教員の相互訪問を中心とした学術交流を進めた。平成12年に朝鮮大学校から教員5名と10名の学部学生を徳島大学に迎え、第1回学術交流セミナーを開催した。その後、相互に教官と学生による訪問プログラムを継続し、両学部の学生交流は学術交流にとどまらず文化交流および人間交流に成果を上げてきた。

学術交流協定締結11年目に当たる本年は徳島大学が訪問する順番であり、平成20年3月23~26日の日程で、教員3名、大学院生1名、歯学部学生5名の総勢9名が朝鮮大学校歯科大学を訪問した。

#### 今回の主な交流内容

1日目 朝鮮大学校総長、歯科大学長表敬訪問(図1)、第8回学術交流セミナー(The 8<sup>th</sup> International Academic Exchange The University of Tokushima and Chosun University)に参加、細井教授の学術講演(An Exocrine Type Water Channel, Aquaporin 5)、伊賀教授の教育講演(徳島大学におけるPBL教育の紹介)、4年次山田由加里さんの研究発表(Development of new anti-periodontitis drug as a topical application)、4年次鎌田久美子さんの大学紹介(図2)、歓迎レセプション(朝鮮大学校副総長、歯科大学長以下多数の教授、学生、薬学部長他の出席)(図3)

2日目 KJ法を用いた日韓合同授業、伊賀教授の講義、日韓それぞれのグループに分かれ「Problem of poor eating habits, what can we do as dentists?」をテーマとして、予め用意したKJ法による問題点の抽出、2次元展開、問題解決法までのプロダクトを作成しプレゼンテーションと討議を行った(図4)。

光州文化交流(樂安邑城民族村を尋ね、日韓学生の文



図1 朝鮮大学校田浩淙総長表敬訪問



図2 学術交流セミナー後の記念写真



図3 歓迎レセプションでの学生同士の交流

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

口腔機能福祉学

\*口腔分子生理学

\*\*口腔保健教育学



図4 KJ法, 問題解決法の発表(出口 大君)



図5 光州空港に見送りに来た朝鮮大学校の学生たちと別れを惜しみ, 来年の徳島での再会を約束

化交流を深めた), さよならパーティーに引き続き学生同士の交流を行った。

3日目 朝の早い時間にも拘わらず, 金歯科大学長, 今回の受け入れのお世話をしていただいた, 徳島大学大学院を修了したコーディネータの呉講師(補綴学)と金講師(口腔生理学), はじめ大勢の学生が光州空港まで見送りに来てくれた(図5)。

#### 訪問を終えて

訪問期間中熱烈な歓迎を受け, 特に学生間の親密な交流は今後のさらなる交流発展を期待させるものであった。今回朝鮮大学校からの要望で行ったPBL教育の紹介とKJ法の合同授業等は, 朝鮮大学校の今後のカリキュラム再編に参考になったとの評価を頂いた。また薬学部長を含めた討議により, 両校の薬学部間でさらなる情報交換を行ってから交流を開始し, 歯学部, 薬学部を中心とする大学間交流へと発展させる方向性を確認した。

#### 参加者(学年は参加時点のもの)

教授: 細井和雄, 伊賀弘起, 中野雅徳  
 大学院生: 野口直人(咬合管理学3年次)  
 学部学生: 鎌田久美子, 出口 大, 柘井敦史,  
 山田由加里(以上4年次)  
 米倉和秀(3年次)

#### 助 成

今回の訪問に対して, 藤井・大塚国際教育研究交流資金および株式会社トクヤマメンタルの援助を受けた。

#### 参加学生の訪問コメント

##### 朝鮮大学校での学術交流を経験して

歯学部5年 山田由加里

朝鮮大学校での交流会は私達学生にとって普段の大学生生活とはまた異なる良い刺激を与えてくれました。初めて英語でのオーラルプレゼンテーションを行い, またKJ法により食育というテーマについて話し合い, お互いの意見を交換することができました。韓国の歯学部生の方々とはお互いの大学生活や勉強のこと, 日本や韓国の文化について英語で会話をすることで, 国境を越えて親交を深めることができました。そして, 改めて英会話が大切であると身にしみました。

最後になりましたが, お忙しいなか暖かい歓迎をしてくださった朝鮮大学校の皆様方, およびこのような貴重な機会を与えてくださった徳島大学の先生方に深く感謝の意を表します。

##### 朝鮮歯科大学校歯科大学との学術交流を終えて

咬合管理学分野 大学院4年次 野口直人

今回の朝鮮大学校訪問で最も強く感じたことは, 学生のモチベーションの高さです。語学力もそうです(誰もが英語で会話できる事など)が, 歯科医療に対しての向上心も日本(徳島大学)の学生よりも高く感じました。今回, 機会があって交流した学生にとっては良い刺激になったと思います。